

第1章 江南市戦略計画達成状況報告書の基本的な考え方

1. 江南市戦略計画達成状況報告書とは

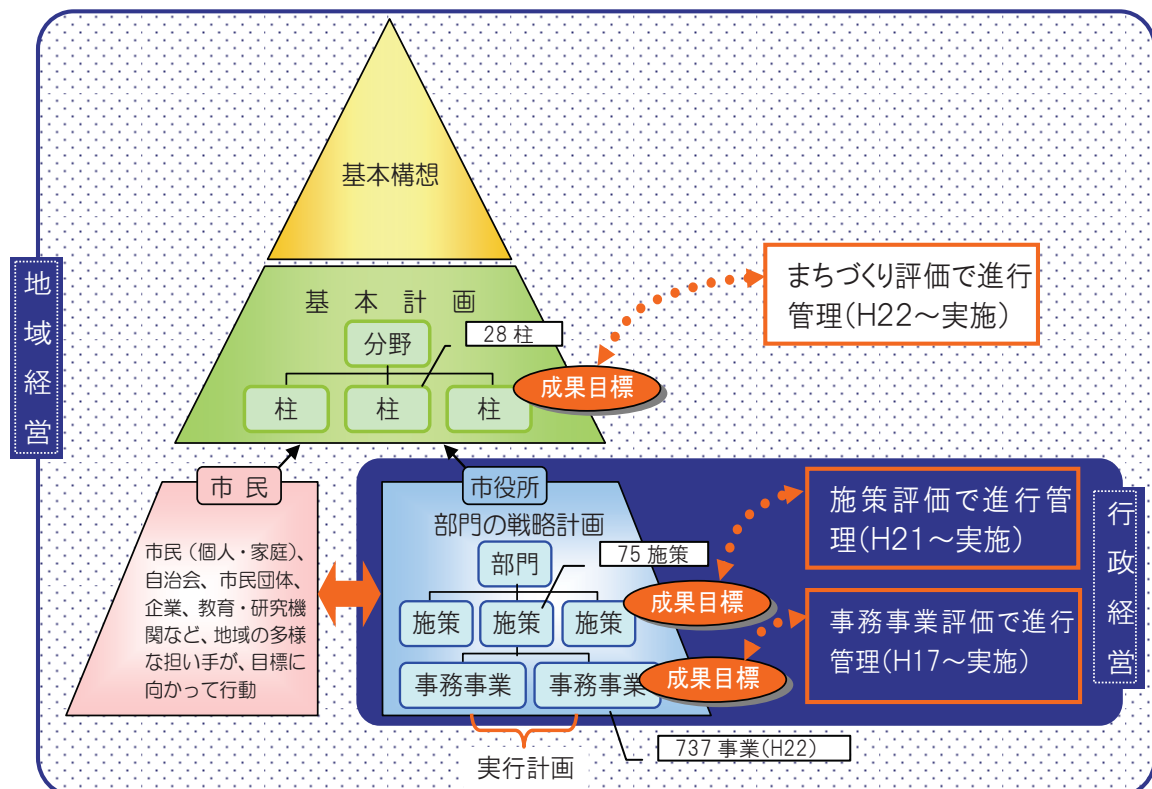
「江南市戦略計画」の進行管理は、基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより実施することとしており、成果目標の達成度は、「まちづくり評価」を活用して測定し、今後の改善方策を検討することとしています。

基本計画の成果目標は、市民と市役所が協働でめざす目標であることから、「江南市まちづくり会議」を設置し、その達成状況についても協働で確認を行い、その結果については、短期的にはそれぞれの行動へ、中期的には次の基本計画の見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く地域の構成員が共有できるよう、とりまとめたものが「江南市戦略計画達成状況報告書」です。

2. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価システムを活用して実施しています。



【行政評価システムによる進行管理のイメージ】

3. 行政評価システムの機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、より良いまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。まちづくり全体の進捗状況（市民生活や地域社会の状態）を市民と市役所が協働で把握し、基本計画の見直しに活かすことを目的とします。

②施策評価

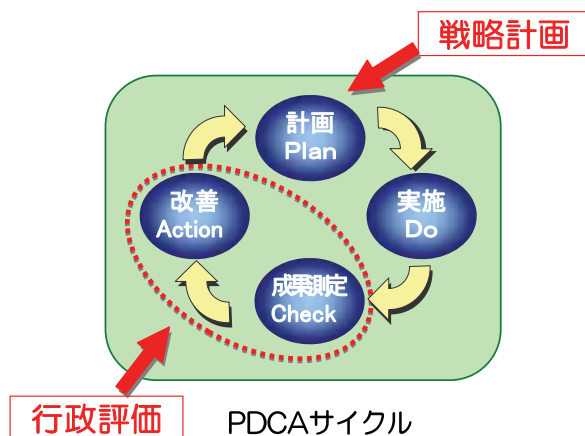
事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ（重点化や改革改善）を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

4. PDCA のマネジメントサイクル

江南市戦略計画は計画の策定[PLAN]、実施[DO]、成果測定(評価)[CHECK]、改善[ACTION]というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより適切に運用します。



5. 江南市まちづくり会議の役割

各分野のまちづくり評価、市民の役割に関する意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行い、江南市戦略計画達成状況報告書を作成することが目的です。

①江南市まちづくり会議の委員

任期：委嘱の日（平成 20 年 7 月 16 日）から 4 年以内

人数：70 名

【内訳】

分野別会議 68 名：各分野に市民公募 4 名、各種団体代表 4 名、担当課長及び統括幹
全体会議 17 名：学識経験者 2 名、分野別会議の正副会長、分野の代表課長

②市民代表の委員の役割

- ・ 市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・ 市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・ 戦略計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

③市職員の委員の役割

- ・ 各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・ 市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・ 市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

④江南市まちづくり会議の取り組み

《平成 20 年度》

江南市まちづくり会議及び戦略計画の内容
について説明

（分野別会議 1 回、全体会議 1 回開催）

《平成 21 年度》

施策評価結果について意見交換

（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

《平成 22 年度》

まちづくり評価、中期基本計画の見直し
（分野別会議 12 回、全体会議 1 回開催）

《平成 23 年度》

江南市戦略計画達成状況報告書の作成
（分野別会議 11 回、全体会議 1 回開催）



江南市まちづくり会議の様子

⑤結果の公表

江南市まちづくり会議での評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く地域の構成員が共有できるよう、「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報、ホームページ等で公表していきます。